

玉本なるみ

です



連絡先：日本共産党北地区委員会 ☎075 - 432 - 3261

2023年10月②号

せっかくの全員制中学校給食が センター方式でよいのか！

10月16日、第4回京都市全員制中学校給食検討会議があり、傍聴に行きました。京都市が2千万円の予算でコンサル会社に調査を委託していましたが、その報告がありました。自校調理方式か、親子方式か、センター方式かその組み合わせかなどを調査しての報告でしたが、費用面ではセンター方式が一番安くつくこと、5年以内に建設し、開始できるということで、センター方式が望ましいという結果を出しました。検討会として、センター方式による実施がよいと決定しました。今後、これらの結果を受け、教育委員会が決定し、市として予算化されることとなります。



私は毎回の検討委員会をほぼ傍聴しましたが、前回までの議論の中には、京都市の小学校の自校調理の給食の素晴らしさを評価される場面がたくさんありました。



それがセンター方式でいいということになり、びっくりです。自校方式についてもっと探求してほしいと思います。

全力で応援します！

10月15日17時から、京都市役所前で「キックオフ大街頭宣伝」を民主市政の会が企画し、市長選挙に立候補を表明している弁護士の福山和人さんを推薦し、共に市政を変えようと1500人が集まりました。福山さんの訴えは心に響きます。障害児の母親が子どもとの将来を悲観し、「もう疲れしました。連れて行きます。ごめんなさい」と遺書を残し子どもの命を終わらせ、自身は死にきれず、有罪判決を受けた事件を紹介し、彼女の責任ではない！政治の責任だ！涙を必死に堪えて訴えられました。福山さんと優しい市政を作りましょう！



つぶやき：市立京北病院の存続について

右京区京北地域は、京北町から2015年に京都市と合併しました。京都市に合わせたために子どもの医療費の助成制度は後退したり、最近では人口減少を理由に小学校をたった一つに集約し遠い地域から子ども達は通っています。今年3月に決められた京北病院の中期計画の中に、今後4年間で持続可能なあり方を検討するとしており、今問題になっている胃カメラが壊れても更新せず、雨漏りなども部分改修で済ませ、全面的な改築計画はしないとのこと。病院の存続も含めて、あり方を検討するということは、診療所等に代えるということも含まれているということです。京北唯一の病院なのに、つぶすなんて絶対に許せませ



アンケート

子どもの要望

北区の母親大会があり、参加しました。思春期アドバイザーのあかたちかこさんの講師で「ジェンダー不平等のこの国で、今、何を？」というテーマのお話でしたが、テーマにこだわらず、あらゆる質問に答えながら、興味のある話満載でした。

厳しい環境で育つ子ども達の話には泣きそうになりました。あかたさんはそんな子ども達に寄り添い支援される仕事をされています。子ども達があかたさんと出会えたことが救いだと思いました。あかたさんの子ども達の心に寄り添えるキャリアと人間性としての感性ってすごい。尊敬です！

あかたさんが府会議員候補としての活動の時の話となり、子ども達との会話を紹介してくれました。小学生の子どもにも、大人に何かしてほしいことはないと聞くのと、「戦争しないことを望む」と言ったこと。自分の子ども達の時には、思いつくこともなかった。それは今の子どもの方が、戦争を近くに感じているということだと思ふと話され、ほんと、ハッとさせられるお話でした。



玉本なるみ市議は京都市の財政問題や福祉切り捨ての問題など報告しました。

